

専門家派遣

カンボジアに対する省エネ支援事業（第1次ワークショップ）を実施しました

【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンターは、カンボジアにおける省エネ法制度の枠組み整備支援を目的に、2019年度AJEEP Scheme3第1次ワークショップ（2019年11月）を首都プノンペンで開催しました。主なテーマは以下の通りです。

- (1) 国家省エネ政策・行動計画（NEEP）承認プロセス進捗確認
- (2) S&L 制度規則文案の最終化と S&L 運用システムの検討推進
- (3) エネルギー管理制度整備のための産官学モデルプロジェクトの活動開始

□Nov. 26-29, 2019 Phnom Penh, Cambodia



ワークショップ出席者



S&L 規則案最終化に向けたコメント



Model Project での定期報告書作成演習



省エネ簡易診断（縫製工場）



省エネ簡易診断（政府ビル）



診断レポート作成指導（縫製工場）

今回の第1次ワークショップには、省エネ責任省である鉱物資源エネルギー省（MME）技術・エネルギービジネス政策部を始めとした制度整備に直接関係を持つ工業・手工業省、商業省、経済・財務省、土地・都市計画・建設省、電力局、カンボジア工科大（ITC）、JICA（現地駐在員）、モデルプロジェクト協力企業3社、ACE、EGGJなど合計約20名が参加しました。

OS&L 制度規則文案については、GSPF 値のラベル記載など EGGJ コメントを規則文案に反映すること、また、エアコン以外の対象機器拡大を考慮し若干の編集を加えることを MME、ITC と合意しました。また、製品/事業者登録制度、能力測定試験所認証、MVE、TBT 等の運用上の整備事項に関しては、責任省庁や時間軸を明確化したアクションプランを策定することになりました。これらの作業の進捗は、第2次ワークショップ（2020年2月開催予定）で確認予定です。

○エネルギー管理制度整備については、産官学による“Model Project”の活動を開始しました。ビル分野、工場分野の定期報告書作成演習への熱心な取り組みや縫製工場・政府ビルでの省エネ簡易診断の実施を通じて、エネルギー管理に必要なデータの収集と解析、現場でのエネルギー管理の要諦などについて、プロジェクトメンバー間での理解が深まりました。第2次ワークショップでは、カンボジアの実態を踏まえた定期報告書フォーマット案の作

成を目指します。

(注)

AJEEP: ASEAN-Japan Energy Efficiency Partnership Program

専門家派遣と受入研修を通じて ASEAN 地域の省エネ人材を育成するプログラム

EnMS: Energy Management System

MME: Ministry of Mines and Energy

NEEP: National Energy Efficiency Policy, Strategy and Action Plan

CSPF: Cooling Seasonal Performance Factor

ITC: Institute of Technology of Cambodia

MVE: Monitoring, Verification, and Enforcement

TBT: The Technical Barriers to Trade Agreement of WTO